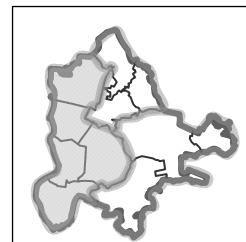


(4) 11 のまちの物語づくり

1) 水と親しめる川の手のまち

水と親しめる川の手のまちは、市域の西側に位置し、松戸地域・矢切地域・明地域・古ヶ崎地域・新松戸地域の5つの地域からなるまとまりです。



①松戸地域

【緑の現況】

- ・松戸駅を中心とした市内で最も大きな商業地を持つ地域です。
- ・地域の西部に江戸川、中央部に坂川・新坂川が南北に流れています。
- ・半数以上の公園が30年以上前に整備された地域です。
- ・市街地に緑は少ないですが、まちの背景に斜面林が見られる地域です。
- ・地域内の一部で公園が不足しています。

【緑の課題】

- ・市外から訪れる人が最も多い地域であるため、松戸市の顔としてふさわしい緑化による、美しい街並みづくりが求められます。
- ・建物が密集し緑化を行う場所が少ない地域であるため、市街地を流れる坂川や商業地の公開空地・歩道を活用した緑化を行うことが求められます。
- ・ヒートアイランドや、自動車の集中による空気の汚れなどを少しでも緩和させるための市街地の積極的な緑化が求められます。

***ヒートアイランド**
冷房や自動車などの人間活動による熱の発生や、アスファルトやコンクリートが多く太陽熱が吸収・蓄積されやすいことにより、これらが集中する都市部だけが郊外に比較して温度が高くなる現象。これを防ぐために、緑地や風の通る道を都市につくることが効果的であるといわれている。

【計画のテーマ】

斜面林と江戸川に囲まれた緑花清流のまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照) ●江戸川グリーンライン(P41 参照)

【計画の基本方針】

●駅周辺の効果的な緑化による松戸市の顔づくり

50 万都市にふさわしい、松戸の顔をつくるため、街路樹や草花などにより効果的に緑化を進めます。

- ・駅前緑空間の整備
- ・再開発に伴う公開空地や商業地の魅力的な緑化
- ・アーバンオアシスの整備

●水辺を活用した地域内の回廊づくり

坂川・新坂川などの河川を活かして、社寺や公園を河川や街路樹でつなげます。

- ・水辺の緑化・親水化による河川環境整備
- ・松戸駅から江戸川へつながる道路緑化
- ・ゆとりある道路の整備と緑化の推進
- ・主要道路沿線の緑化推進

●市民が身近に親しめる様々な緑空間の形成

公園だけでなく、様々な花壇や広場をまちの中に整備していきます。

- ・地域公園：松戸中央公園のリフレッシュ
- ・みどりの市民力による街区公園のリフレッシュ
- ・雷電神社・竹ヶ花雷電湧水・こどもの遊び場が一体になった空間の活用
- ・子どもの遊び場・生産緑地地区・公有地を活かした街区公園の整備
- ・みどりの市民力による戸定が丘歴史公園の活用
- ・クロスロードパークの設置

***公開空地**
建物などの敷地内に確保する公開制の高い空地。



松戸中央公園



戸定が丘歴史公園

- ・ポケット花壇の設置
- ・市民農園の開設支援
- ・千葉大園芸学部の緑の情報・交流拠点としての活用

●市街地の環境を支える江戸川・斜面林の保全・活用

市街地の景観・環境を守るため、江戸川と金山神社から千葉大学周辺の斜面林を保全・活用します。

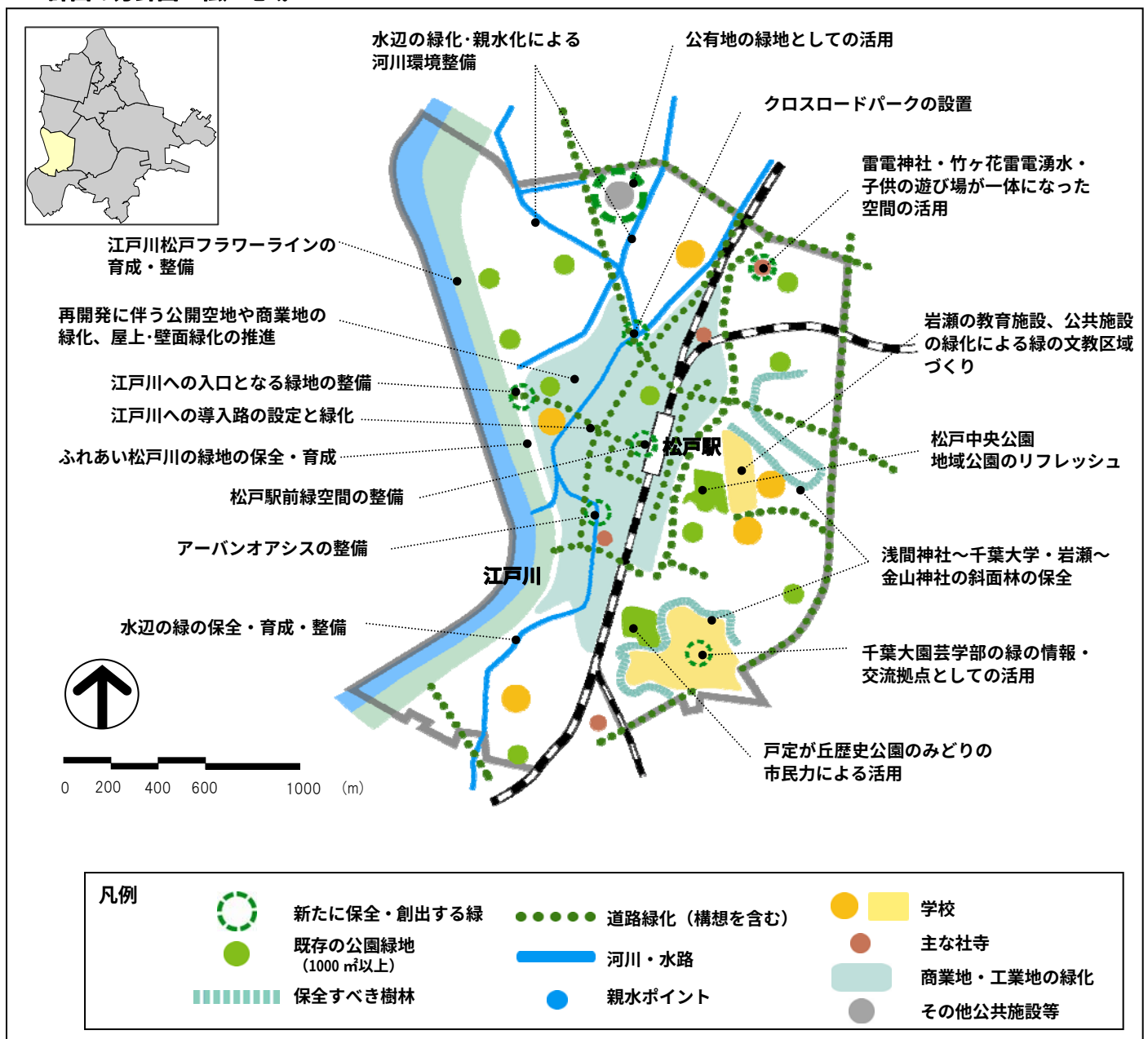
- ・江戸川松戸フラワーラインの育成・整備
- ・ふれあい松戸川と沿川緑地の保全・育成
- ・坂川の水辺の緑の保全・育成・整備
- ・江戸川への入口となる樋野口付近の緑地の整備
- ・浅間神社～千葉大学・岩瀬～金山神社の斜面林の保全
- ・斜面林の景観保全のための開発の規制・指導

●市街地の環境をよりよくする緑化の推進

市街地の環境を向上させるため、屋上・壁面緑化や公共施設の緑化を推進します。

- ・屋上・壁面緑化の推進
- ・聖徳大学など、岩瀬の教育施設、公共施設の緑化による緑の文教区域づくり

■計画の方針図 松戸地域



②矢切地域

【緑の現況】

- ・台地上部には、主要地方道市川・松戸線沿いの従来からの住宅地と、二十世紀が丘の整備の行き届いた住宅地が見られます。
- ・江戸川沿いの低地部には農地が広がり、西に江戸川の堤防、東に矢切の斜面林が見られ、農地の中央部には坂川が流れる、広大な景観が形成されています。
- ・半数以上の公園が 30 年以上前に整備された地域です。
- ・地域内の一部で公園が不足しています。
- ・松戸市の代表的な樹林地である、矢切の斜面林や浅間神社の樹林があります。
- ・数多くの社寺や野菊の墓、矢切の渡しといった、松戸の歴史や文化を伝える場所があります。
- ・東京外かく環状道路(外かん)が整備中です。

【緑の課題】

- ・JR常磐線からも良く見え、松戸市の緑のイメージをつくり出している矢切の斜面林や江戸川沿いの農地の景観を守る必要があります。
- ・坂川などの水辺や樹林が持つ良好な環境を保全しながら、適切な土地利用を誘導していく必要があります。
- ・過密化しがちな台地上部に、ゆとりある生活空間をつくり出す必要があります。
- ・特徴的な観光資源となる歴史的遺産等の資源を活かした公園づくりが行えます。

【計画のテーマ】

水辺と斜面林がつなぐ自然と人が交流するまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照) ●江戸川グリーンライン(P41 参照) ●川のレクリエーション交流拠点(P36 参照)

【計画の基本方針】

●松戸のシンボルである矢切斜面林の保全

JR常磐線・北総鉄道などから見え、良好な景観を持つ矢切・栗山の斜面林を保全します。

- ・矢切・栗山の斜面林、浅間神社の樹林に対する特別緑地保全地区の指定
- ・斜面林の景観保全のための開発の規制・指導
- ・外かんの整備に伴う斜面林のみどりの市民力による復元

●水と緑が織りなす快適な環境の形成

江戸川・坂川・矢切の斜面林によってつくられる、快適な環境を持つ生活空間を形成します。

- ・坂川の河川環境の保全・整備
- ・柳原親水広場の活用
- ・公共施設の接道部緑化の推進
- ・坂川親水広場を活かしたクロスロードパークの整備
- ・江戸川サイクリングロードの整備
- ・外環上部を利用した（仮称）矢切市民の森と広場の整備
- ・江戸川スーパー堤防の活用



坂川親水広場

台地上のゆとりある住宅地を中心に、緑化や公園の整備を推進します。

-

柿ノ木台公園

市南西部の矢切地区では、斜面林、農地、江戸川や坂川の河川、矢切の渡しや野菊の墓文学碑などの観光資源を活かしながら、川の文化を再現して市内外の人々が交流する川のレクリエーション交流拠点を育成します。

- ## ■計画の方針図 矢切地域



③明地域

【緑の現況】

- ・地域の南東部に国分川が流れ、これに沿ってまとまった斜面林が見られる地域です。
- ・北部にも比較的まとまった斜面林や湧水があります。
- ・道路などの基盤整備が行き届いた住宅地や工業地が見られる一方、一部で緑に関する整備が不足している住宅地も見られます。
- ・半数以上の公園が30年以上前に整備された地域です。
- ・地域内の一部で公園が不足しています。
- ・市内の中でも学校や社寺が比較的多い地域です。

【緑の課題】

- ・積極的な公園整備はもちろん、数多くの公共施設や社寺などの活用が求められます。
- ・面積の大きな斜面林や湧水を活かした自然環境とのふれあいの場づくりが求められます。
- ・魅力的な環境づくりのための住宅地の緑化と、周辺の自然や生活環境への影響をできるだけ少なくするための工場の緑化が求められます。

【計画のテーマ】

公園と緑花で彩る快適な生活が実感できるまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照)

【計画の基本方針】

●社寺・文教施設を中心とした緑の空間の確保

地域に数多くある社寺林や学校などを活かして、緑の多い空間を整備します。

- ・本福寺・カンスケ井戸・前田公園・斜面林の一体的な活用
- ・学校などと公園緑地との一体的な活用
- ・学校などの接道部緑化の推進

●まちの中の自然を楽しむ空間の確保

住宅地の中の斜面林や湧水を活かした自然を楽しむことのできる空間を確保します。

- ・北松戸駅周辺の斜面林の景観保全のための開発の規制・指導
- ・松戸新田（大作）、和名ヶ谷（清水）の樹林の市民緑地の指定
- ・市民緑地での緑の地域活動やボランティア活動の促進
- ・保全樹林地帯等の指定促進
- ・自然豊かな国分川の保全・活用
- ・市民農園の開設支援
- ・上本郷宮下湧水の活用



カンスケ井戸からの緑道

●ゆとりある住宅地と工場の緑化の推進

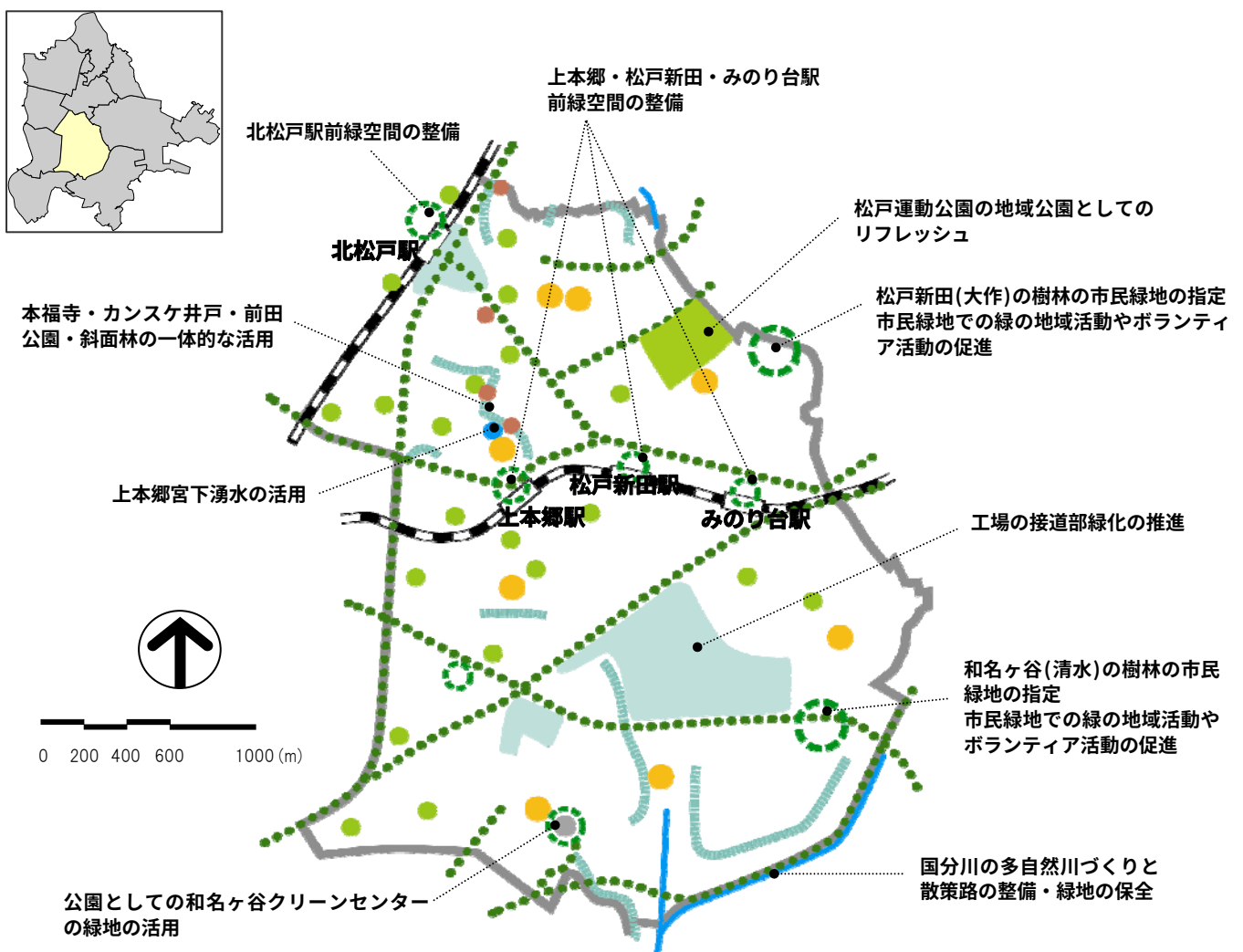
台地上のゆとりある住宅地や工場を中心に、緑化を推進します。

- ・生産緑地地区などを活用した街区公園の整備
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・街区公園の住民による緑の地域活動の促進
- ・地域公園：松戸運動公園のリフレッシュ
- ・公園としての和名ヶ谷クリーンセンターの活用
- ・幹線道路緑化の推進
- ・公共施設の接道部緑化の推進
- ・生垣緑化の推進
- ・街と健康を楽しむ緑と水辺の回廊づくり
- ・住宅地での緑地協定の促進
- ・工場の接道部緑化の推進



和名ヶ谷クリーンセンターの緑地

■計画の方針図 明地域



凡例

- | | | | | | |
|--|----------------------|--|-------------|--|------------|
| | 新たに保全・創出する緑 | | 道路緑化(構想を含む) | | 学校 |
| | 既存の公園緑地
(1000㎡以上) | | 河川・水路 | | 主な社寺 |
| | 保全すべき樹林 | | 親水ポイント | | 商業地・工業地の緑化 |
| | | | | | その他公共施設等 |

④古ヶ崎地域

【緑の現況】

- ・西部に江戸川、地域中心部を坂川、東部に新坂川が南北に流れており、その他の水路などを含めると豊かな水辺環境を持つ、生産緑地などの農地の多い地域です。また、坂川・新坂川を中心に積極的な緑化を行っています。
- ・江戸川低地部は農地の宅地化が進み、公園や道路などの整備が不足しています。
- ・住宅地と北松戸駅の間に工業団地を挟んでいるため、普段の生活の中で人の多く集まる、地域の中心といえる場所の少ない地域になっています。
- ・農地などの面的に広がる緑は多く、生産緑地地区も多く指定されていますが、斜面林のような立体的に目に映る緑は少ない地域です。
- ・特に公園が不足している地域です。

【緑の課題】

- ・豊富な農地を活かした魅力的な緑の空間づくりが求められます。
- ・豊富な水辺を活かした河川環境整備を、さらに推進していくことが求められます。
- ・地域内の基盤の整備と歩調をあわせて、魅力やゆとりのある住宅地をつくるための緑化を推進する必要があります。
- ・生産緑地地区などを活用し、公園緑地の整備をすることが求められます。

【計画のテーマ】

水辺と花で創る快適なまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照) ●江戸川グリーンライン(P41)

【計画の基本方針】

●農地などを活用した積極的な公園の整備・活用

豊富な生産緑地地区などを活かして、不足する公園を整備します。

- ・地域公園：生産緑地地区を活用した地区公園の整備
- ・生産緑地地区などを活用した街区公園の整備
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・街区公園の住民による緑の地域活動の促進
- ・市民農園の開設支援

●水辺を活用した地域の回廊づくり

豊富な河川や水路を活かして、公園や地域の間を河川でつなぐ歩行者空間をつくります。

- ・坂川プロムナードの整備
- ・水辺の緑化・親水化による河川環境整備
- ・水辺のまちを楽しむ緑と水辺の回廊づくり
- ・河川における地域活動の促進
- ・江戸川松戸フラワーラインの育成・整備
- ・豊かな水田風景の保全



坂川プロムナード

●商業地・住宅地で一体的に進める花のまちづくり

地域の一体感をつくるため、商業地や住宅地で花による緑化を推進します。

- ・中堀・東堀の市民によるプランター緑化の推進
- ・街路樹・生垣による沿道緑化の推進
- ・公共施設の接道部緑化の推進
- ・住宅地での緑地協定・緑化推進モデル地区協定締結の促進
- ・商業地の花による緑化の推進
- ・駅前緑空間の活用

●工業地の緑化の推進

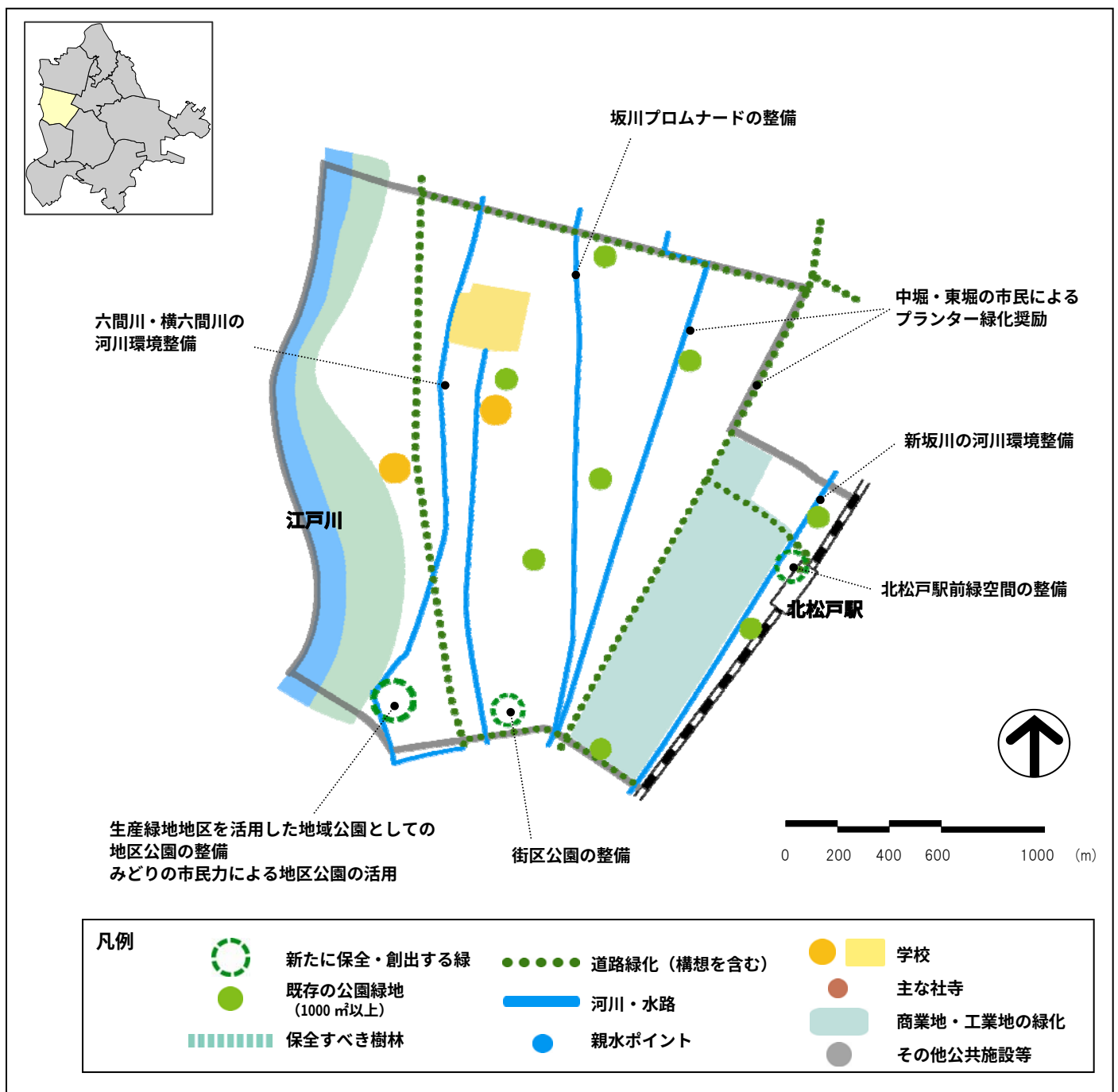
北松戸の工業地での緑化を推進します。

- ・工場の接道部緑化の推進



北松戸一丁目緑地

■計画の方針図 古ヶ崎地域



⑤新松戸地域

【緑の現況】

- ・公園や街路樹などがよく整備された中高層の住宅地が中心の地域です。一方で、緑に関する整備が不足している住宅地も見られます。
- ・新松戸駅を中心とした良好な生活の場のイメージを持った地域です。
- ・地域の西部には矢切に次ぐ広大な農地が見られます。
- ・西部に江戸川が、中央を坂川が南北に流れています。
- ・街区公園の不足する場所がありますが、学校のグラウンドや中高層住宅の広場などが多数存在します。
- ・中高層の住宅地を中心とした住民による緑化が盛んな地域です。

【緑の課題】

- ・新松戸地域の持つ良好な生活の場のイメージを保ちながら、より住民の生活や自然にやさしいまちにしていけるため、今後も積極的な緑化が求められます。
- ・市民が河川・農地などの豊富な資源を積極的に活用できるよう、街路樹や河川沿いの散策路でつながる公園などの緑の空間を整備することが求められます。

【計画のテーマ】

緑と水辺が織りなすさわやかなまち

●江戸川沿い斜面林ゾーン(P28 参照) ●いきいきふれあい健康交流拠点(P36 参照) ●江戸川グリーンライン(P41 参照)

【計画の基本方針】

●生活のにぎわいを演出する緑化の推進

新松戸駅周辺の生活のにぎわいを、より魅力的にしていけるための緑化を推進します。

- ・道路緑化の推進
- ・街路樹や生垣による沿道緑化の推進
- ・緑地協定の促進
- ・駅前緑空間の整備

●水辺を活用した、ゆとりある地域の回廊づくり

坂川・新坂川・坂川放水路などを活かして、公園やまちをゆとりある歩行者空間を持った水辺でつなぎます。

- ・水辺の緑化・親水化による河川環境整備
- ・街と水辺をつなぐ緑と水辺の回廊づくり
- ・新坂川沿いの桜並木の保全
- ・坂川沿いのハナモモ並木の保全・育成

●豊富な農地と河川を活用した緑空間の活用

市北西部の旭町では、江戸川と坂川などの水辺と小中学校が連携しながら、市民のスポーツや高齢者の健康づくりを通じて、人や自然がふれあう場として、いきいきふれあい健康交流拠点の形成に努めます。

- ・旭町 いきいきふれあい健康交流拠点の形成
- ・市民農園の開設支援
- ・地域公園：新松戸中央公園のリフレッシュ
- ・緑の地域活動による新松戸中央公園の維持・管理



新松戸中央公園

- ・子どもの遊び場・生産緑地地区を活用した街区公園の整備
- ・みどりの市民力による身近な公園のリフレッシュ
- ・街区公園・街路樹・河川の住民による緑の地域活動やボランティア活動の促進
- ・江戸川生きもののサンクチュアリの設定
- ・川の一里塚（主水）の活用



江戸川生きもののサンクチュアリ

■計画の方針図 新松戸地域

